

創立昭和28年1月8日



人類に奉仕するロータリー

TANABE ROTARY



District 2640 田辺ロータリークラブ Club Weekly Bulletin

2016-17年度
国際ロータリーテーマ
「人類に奉仕するロータリー」
-ROTAR SERVING HUMANITY-
ジョン F. ジャーム R I 会長
国際ロータリー第2640地区
福井隆一郎 ガバナー

4つのテスト (FOUR WAY TEST)

- 言行はこれに照らしてから
(1) 真実かどうか
(2) みんなに公平か
(3) 好意と友情を深めるか
(4) みんなのためになるかどうか

例会日 木曜日 12:30
例会場 紀伊田辺シティプラザホテル
会長 植田 英明
幹事 柏木 壽夫
会報委員長 松本 哲
<http://tanabe-rc.com/>

承認 昭和28年3月2日
事務所 〒646-0031
田辺市湊23-6
TEL 0739-24-2002
FAX 0739-26-0264
mail tanabe-rc@helen.ocn.ne.jp



「聖ポール天主堂跡-マカオ」
撮影 柏木壽夫会員

●司会者
植田英明会長

●ソング
琵琶湖周航の歌

●ゲスト
田辺市総務部防災まちづくり課
主査 田中 啓行 様

●ビジター

3月23日のプログラム

作家
宇江 敏勝 様

3月30日のプログラム

保田 博子 様

出席報告

	第3142回	第3143回	第3144回
会員数	86名	86名	86名
出席規定免除会員数	8名	8名	8名
出席計算会員数	83名	83名	82名
出席者	67名	74名	63名
出席率	80.72%	89.16%	76.83%
メイクアップ	2名	2名	
修正出席率	83.13%	91.57%	

2月平均出席率 85.8%

メイクアップ

3月12日 田上 (RI第2640地区会長エレクト研修)
3月15日 大川 (田辺東RC)

お祝い

配偶者誕生日 玉置幸子 (英人)

ニコニコ箱

☆田辺市総務部防災まちづくり課田中啓行様より卓話謝礼分をニコニコ箱に頂きました。
☆田辺市総務部防災まちづくり課主査田中啓行様、田辺ロータリークラブによるこそ、本日は卓話宜しくお願ひ致します。……………植田英、柏木
☆田辺市総務部防災まちづくり課田中啓行様、卓話よろしくお願ひします。(プログラム委員会)・中松、稲田静
☆田辺市総務部防災まちづくり課田中啓行様、本日の卓話宜しくお願ひします。……………柴田、玉置、玉井、西嶋、脇村富、河上
☆しょうわ会&新会員歓迎会ありがとうございました。
しょうわ会終了後、橋本さんに変お世話になりました。……………植田英
☆しょうわ会より-先週開催のしょうわ会に沢山の皆さま

まに参加頂きありがとうございました。おかげ様で楽しい会になりました。……………矢野、橋本
☆しょうわ会楽しかったです。お世話いただいた方々に感謝いたします。……………
……………伊賀、濱口、松本、大木、竹内、山路、都志見、住山
☆しょうわ会欠席。すみませんでした。……新井、大崎
☆ロータリーゴルフで準優勝。ニアピンを2つゲットしましたが、優勝するのが不可能になりました。…横田
☆一すうらしい朝〇会。……………渡部

お知らせ

会長報告

- 先週9日のしょうわ会及び新会員歓迎会へ大勢のご参加ありがとうございました。しょうわ会矢野会長・橋本幹事、親睦活動委員会岩本委員長・委員の皆さん、御苦勞様でした。
- 3月12日、PETS(会長エレクトセミナー)へ、田上雅信会長エレクトが出席されました。
- 地区より3月9日付けで2019-2020年度国際ロータリー第2640地区ガバナーノミニ確定宣言が届きました。先日報告致しました候補者の堺東ロータリークラブの中野 均会員です。

幹事報告

- 本日、例会終了後に本年度第4回クラブ協議会を開催しますので役員・理事各委員長の方はお残り下さい。また、入会3年未満の方も是非オブザーバー出席してごらんください。
- 2月に卓話に来ていただいた田辺市立美術館の三谷涉さんより田辺市立美術館と熊野古道なかへち美術館の入場券を何枚か頂きました。観覧される方は幹事まで申し出て下さい。
- ハイライトよねやま、ザ・ロータリアン、近隣クラブの会報が届いていますので回覧します。

委員会報告

社会奉仕委員会

竹内正巳委員長

・2月3月と計3回にわたりお願いしました識字率向上運動協賛のポケットコインですが、合計26,342円ございました。地区の方へ送金したいと思います。ありがとうございました。尚、書き損じ葉書、未使用切手、未使用テレホンカード等につきましては、今月末まで受付けていますので後に置いてあります箱へお願いします。

プログラム

『熊本災害における被災地支援活動について』



田辺市役所 総務部
防災まちづくり課

主査 田中 啓行 様

平成28年4月14日、そして16日に震度7の大地震が熊本地方を襲い、建物の倒壊や土砂災害により81名の尊い命が失われました。

わずかな期間で最大震度の地震が2度発生したことは、日本における観測史上初の出来事であったことから、被災地の方にとってはまさに想定外の地震であったといえるのではないのでしょうか。

私が支援活動に向かったのは、この地震の震源地である熊本県上益城郡益城町です。益城町では、地震による建物被害が多数発生しており、更に橋や電柱の倒壊、上下水道管の破損など、至るところでライフラインの被害が発生したことから、多くの方が避難生活を余儀なくされました。

被災者の方々は震度7の揺れを2回経験したこともあり、更に大きな地震が発生するかもしれないという恐怖心から、建物の倒壊等のおそれのない駐車場やグラウンド等にテントを設営したり、自家用車の中で生活したりしていました。

私が被災地で行った活動は、地震による住宅の損壊程度を調査するものであり、被害程度に応じて被災者の支援を決定する重要なものになります。この調査を適正かつ迅速に行うことにより、被災者により早く支援を届けることができ、生活再建への道筋を照らすことができます。

調査は、基礎のひび割れ及び歪み等、建物の構造躯体の状況を重点的に調べるとともに、内装部分も調べることから時間を要し、余震が続いている中で損壊し

た建物内に入ることから恐怖を感じました。また、被害を受けた建物を念入りに調査するほど、地震の威力のすさまじさを知り、被災者の恐怖がいかほどだったのか感じることができました。

地元の方にお話を伺ったところ、熊本地方は台風進路ということもあり暴風及び大雨等の対策を重点的に行っていたため、耐震改修や家具の固定などの地震対策をしていなかったとのことでした。また、調査時には地震対策を講じていなかったことを後悔している方も多くおられ、地震対策の重要性を改めて認識することとなりました。

この地震では、車中泊やテントで生活する人が多かったため、エコノミークラス症候群への対策の必要性が認識されるようになりました。

また、被災地では災害ボランティアや各行政機関・団体から様々な支援が行われていましたが、被災者の心を支えるのは、慣れ親しんだ近所の方や親戚・友人であると感じ、人と人とのつながりの大切さを改めて感じました。

田辺市でも南海トラフ地震への対策が喫緊の課題となっており、この地震による津波から命を守るためには、早期の避難が重要です。

また、地震の対策として、住宅の耐震化や家具の固定などの対策を行う必要があります。

最後になりましたが、熊本地震や東日本大震災等の大規模災害で得られた教訓を活かし、行政、各団体や企業、住民が一体となって防災対策に取り組んでいくことが大切になると思いますので御協力をお願い致します。



平成28年5月撮影 熊本城

国土地理院・熊本市

ロータリーゴルフ3月例会成績

3月12日(参加16名) 白浜GC

順位	氏名	グロス	ハンディ	ネット
優勝	長井 保夫	85	11	74
2位	横田 達夫	98	21	77
3位	田中 元章	84	6	78

※アビオン賞 No.3-中松、横田達 No.6-田中元 No.8-なし

No.15-山本博、和田 No.18-中松、横田達

※次回は4月16日(日) スタート8:56 白浜GC